

明るく！ 元気に！ さわやかに！

調布市議会議員

川畑 英樹

市民政治
チャレンジ
レポートvol.15



川畑英樹

川畑英樹、調布市政に賭ける決意を語る

私は昨年九月、自分の不注意で右足を骨折し、松葉杖での生活を余儀なくされました。そして、調布の街がまだまだ大人にやさしくないことを改めて実感しました。

ほんの少しの段差や、放置自転車などの障害物によって、車椅子やベビーカー、目の不自由な方などの行動が制限されたり、危険にさらされたりすることはたくさんあります。それは単に「不便」といった問題ではなく、社会から拒絶されているような、心理的なストレスをも生みます。

バリアフリーは高齢者福祉・障害者福祉の問題と捉えられがちですが、「人にやさしい、人に暖かい」まちづくりは、子育てにも、教育にも、防災にも繋がっていく、大きなテーマです。

私はこの四年間の市議会議員としての活動経験と実績を活かし、これからも、普通の市民の目を大切にしながら、明るく、元気に、さわやかに、そして真剣に、「人にやさしい、人に暖かい」街づくりに取り組んでいきます。

川畑英樹が取り組む、6つの基本政策

①安心して子育てができるまち、調布：子育て支援

- ◎保育料補助制度の設立・子育て応援券制度の導入を。
- ◎待機児童ゼロの保育行政・病後時保育(病気回復期の子どもを看る施設)の拡充を。
- ◎乳幼児を持つすべての親に、担当相談員を。

現在、市内で病気回復期の子どもを預かる施設は1箇所、定員は4名に過ぎません。

②みんなにやさしいまち、調布：バリアフリー

- ◎バリアフリーを実現したまちづくりを。
- ◎調布市内沿線の駅に市役所窓口機能を。
- ◎公共施設や大型店の1階に授乳室と障害者トイレの設置を。

3月4日から、布田・国領の仮駅舎が供用を開始しましたが、市内3駅にまだエレベーター・エスカレーターが設置されていません。

③安心して齢を重ねられるまち、調布：介護支援

- ◎介護保険サポーターサービス(介護保険の専門家)の新設を。
- ◎在宅サービスの充実やグループホームの整備を。
- ◎在宅で介護をする家族への支援と心のケアを。

2005年10月現在の市内の高齢者数は35,612人で高齢化率は16.7%、介護認定者数は5,964人です。

④自然と環境を大切にすまち、調布：環境対策

- ◎生ごみ処理機の購入助成の増額を。
- ◎放置自転車ゼロをめざし、駐輪場の拡充を。
- ◎自然と環境を守る、エコロジー都市に。

市内の放置自転車数は約3,900台、緑地の占める割合は33.2%です。

⑤楽しく学べるまち、調布：教育

- ◎すべての小中学校の校舎を耐震校舎に。
- ◎いじめ・不登校に対応する、スクールカウンセラーの増員を。
- ◎楽しく学べる個々の能力を伸ばす特色ある学校づくりを。
- ◎団塊の世代・お年寄りの能力を借りたコミュニティスクールの創設を。

調布市の学校の耐震補強率は、校舎35%、体育館50%です。

⑥安心安全に暮らせるまち、調布：防犯・防災

- ◎調布市所有車のパトロール兼用車両化の推進を。
- ◎犯罪及び交通事故多発地区を記載した危険箇所確認マップの早期作成を。
- ◎京王線地下化後の跡地に防災公園の機能を。

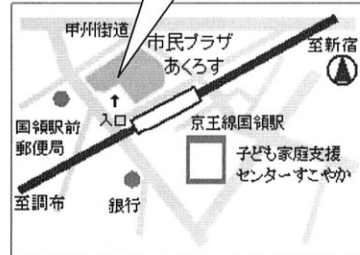
昨年1年間の市内引ったくり発生件数は52件でしたが、今年既に28件発生しています(2月23日現在)。また、振り込め詐欺事件も後を絶ちません。

落語とどじょうすくい、笑って春を迎えましょう！
川畑英樹を応援する会

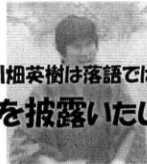
落語で「サクラサク」

- ◆とき 3月25日(日)13:30開場・14:00開演
- ◆ところ 国領アクロス(国領駅北口0分)3Fホールにて
- ◆会費 1名様=2,000円
- ◆出演 柳家さん生
ヤスケ(正調安来節)
- ◆特別ゲスト 菅仲子さん(菅直人民主党代表代行夫人) 予定

スーパー「西友」入口
左側のエレベーター
をご利用ください。



柳家さん生師匠



今回、川畑英樹は落語ではなく
決意を披露いたします！

《出欠ご連絡用FAX用紙》

FAXでお申し込みの方は、下欄にご記入の上、03-3305-6221に送信してください(切り取り不要)。
※はがきでお申し込みの方は、同封のはがきをご利用ください。
※恐れ入りますが、ご来場確認のため、3月22日までに返信をお願いします。

ご出席 (ご本人様含み) 名様) / ご欠席

お名前	お電話
ご住所 (ご変更の場合は、お手数ですが必ずその旨をご記入ください。)	

～川畑英樹プロフィール～

- 1957年 九州・熊本に生まれる。
- 1976年 熊本工大高校卒業後上京。
- 1980年 丹波哲郎道場で役者修業、82年に時代劇でTVデビュー。86年夏木プロに移籍。
- 1994年 母、62歳で脳内出血のため左半身不随に。現在も車椅子生活。
- 1996年 衆議院議員菅直人事務所において、地元担当・随行秘書として、厚生大臣・民主党代表としての菅直人の活動を支える。また、各級選挙に携わり、多くの市民派議員を生み出す。
- 1997年 父、母を老々介護の末、77歳で肺がんのため世界。
- 2000年 結婚。2002年には長女誕生。
- 2003年 調布市議会議員選挙初当選。人に優しい、暖かい調布づくりに取り組んでいる。2006年12月までに、一般質問12回。実現に至った提案多数。
調布演劇協会所属。調布断の会にて落語を勉強中。座右の銘は「笑う門には福来る」。

民主
PRESS MINSHU

2007年 3月
民主党 プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区本町4-1-11
電話: 03-3505-9988(代) 03-3505-9989(代)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

号外

川畑英樹を応援する会 TEL/FAX 03-3305-6221
〒182-0001 東京都調布市緑ヶ丘2-20-3 セリス仙川B-302